

# 減災 NEWS

近畿大学奈良病院DMAT災害対策委員会

文責：山崎賢太郎

vol. 27 2026. 5. 18

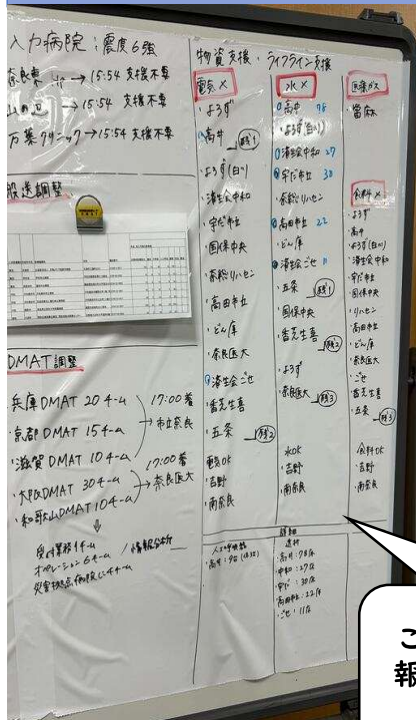
みなさんこんにちは。12月14日に実施された「令和7年度 奈良DMATロジスティクス研修」に、当院のDMAT隊員が参加しました。本研修は、奈良県で発生した大規模地震（奈良盆地東縁断層帯地震）発災を想定し、奈良県災害対策本部、県保健医療調整本部、DMAT調整本部を設置したうえで、奈良県内のDMAT隊員が各本部の立ち上げ・運営を行う内容でした。今回は、当院DMATが担当したDMAT調整本部での活動内容を報告します。

## ロジスティクスとは

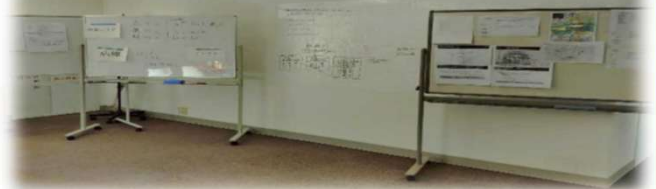
DMATは、医師・看護師・業務調整員（ロジスティクス担当者）で構成されています。ロジスティクスとは、一般的には製品やサービスの流れ全体を最適化し、一元的に管理する仕組みのことを指します。DMATにおけるロジスティクスとは、災害時医療を円滑に活動できるように情報を収集・分析し、移動・通信手段の手配等を行う後方支援を担う役割です。ロジスティクス担当者がこれらの調整を行うことで、医療チームは診療に専念でき、迅速かつ効果的な医療支援が可能となります。災害医療活動を円滑に進めるうえで、非常に重要な役割を担っています。

## 本部での活動内容

本部ではまず、情報収集を行います。管轄地域の病院被災状況の把握に加え、道路やライフライン等の情報を収集し、それらを分析したうえで、どの病院にどのような支援が必要かを検討していきます。情報収集の際に活用するシステムがEMIS（広域災害医療情報システム）です。これは災害時に各医療機関や医療チームが被災状況や活動状況を入力・共有することができるシステムです。今回の研修では、EMISに加えて、「D24H」という新しい情報共有システムを併用して情報収集を行いました。研修では、次々とミッションが提示され、情報の収集・整理・分析が追いつかない場面も多ありましたが、研修を通して、ロジスティクスの難しさと重要性を強く実感しました。



これは「クロノロ」として情報を記録・整理して全員で共有できるようにしています



## D24Hとは

災害時の情報収集では、病院情報だけではなく、ライフラインや保健・福祉に関わる情報も必要になります。これまでは、様々な場所から情報を個別に収集する必要がありました。「D24H」はこれらの情報を一元的に集約し、共有できるシステムです。EMISが医療機関の被災状況や医療活動の情報を扱うのに対し、D24Hは主に避難所や施設の状況を含めた地域全体の情報を集約することを目的としています。このように役割の異なるシステムを併用することで、より効率的な情報収集が可能となります。今回の研修で実際に活用し、実感することができました。



ご意見やご感想、ご質問等ございましたら、【患者さまの声】にお願いします。  
(患者さまの声は、2階正面玄関前カウンター、再診受付機脇、各デイルームに設置しています。)